

P

最終選考上演会

新人賞

PUPPET×PERFORMANCE 2021

2022年2月19日① 19:00 / 20日② 14:00

料金 前売一般 ¥2,000 当日一般 ¥2,200
センター会員 ¥1,800 (事前申込に限る)

会場 損保ジャパン人形劇場ひまわりホール

P新人賞受賞団体

副賞賞金 **200,000円**

2022年度ひまわりホールにて新作公演の招待上演を予定

観客賞受賞団体

副賞「どえりゃー名古屋めしセット」

▶P新人賞とは

P新人賞の「P」とは、人形劇(PUPPET)のP、オブジェ+身体によるパフォーマンス(PERFORMANCE)の「P」です。人形劇ジャンルの明日を担う斬新な才能を発掘するために開催されています。

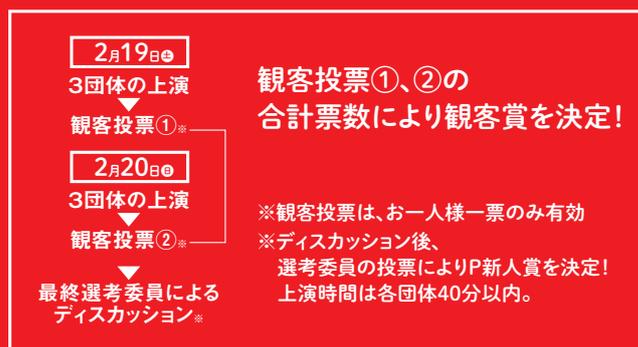
最終選考上演会では、選考委員ディスカッションによりP新人賞1作品を、観客の皆さんによる投票で観客賞1作品を決定!P新人賞受賞団体には副賞賞金20万円、P新人賞観客賞受賞団体には副賞「どえりゃー名古屋めしセット」をそれぞれ贈呈!

▶最終選考会上演作品

トランク機械シアター(北海道・札幌市)
『きらわれドロロンと、魔法の鏡』

長谷川唯(公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会)(埼玉県・狭山市)
『茶壺道中』

APINUN(山村佑理×あづみびあの)(東京都・世田谷区)
『牛』



最終選考委員

小島祐未子(編集者・ライター)
玉木暢子(NPO法人国際人形劇連盟日本センター事務局長)
智春(演出家、振付家、肉体劇作家、クラウン)
水谷イヅル(現代美術家)

P新人賞2021実行委員長

木村繁(演出家)

▶お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人愛知人形劇センター

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン名古屋ビル8F

TEL 052-212-7229(平日10:00~18:00) FAX 052-212-7309

mail@aichi-puppet.net

※お問い合わせは極力メールにてお願いいたします。



地下鉄桜通線久屋大通駅下車、
西改札1番出口西へ徒歩3分
損保ジャパン名古屋ビル19F

文化庁委託事業

「令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催 文化庁、特定非営利活動法人愛知人形劇センター

制作 特定非営利活動法人愛知人形劇センター

協賛 損害保険ジャパン株式会社



愛知人形劇センター
Aichi Puppet Museum
Government of Japan

PUPPET PERFORMANCE 2021 最終選考上演作品のご紹介



トランク機械シアター きらわれドロンと、魔法の鏡

北海道・札幌市

上演時間:約35分



作・演出 立川佳吾
出演:縣梨恵・後藤カツキ・さとともこ・立川佳吾
音楽:山崎耕佑(劇団fireworks) 舞台:後藤カツキ
人形製作:保育園の子どもたち 小道具:縣梨恵・さとともこ

上演作品紹介

2020年、劇場の入場制限等が増えていく中、作り手もお客様もある程度安心して観ることができない方法はないかと考えた結果「飛沫を極力飛ばさない」という結論に至り「セリフを全編録音する」という手法を取りました。人形は保育園のこどもたちが作った人形がメインキャラクターを演じ、独特の味を出してくれています。2020年にまわりついていた、どうにもできないマイナスな感情を、今回お客様みんなで笑い話として語れるような作品になれば良いと考えています。

劇団プロフィール

札幌を拠点に「大人と子どもと一緒に楽しめる舞台を創造する団体」として2012年に1回目の公演を行う。人形劇・児童劇を中心に、劇場公演のほか、保育園や学校などで公演を行なっています。またワークショップや学校での授業・オンライン公演・おうちで人形劇コンテストを行なっています。代表作「ねじまきロボットα」はシリーズ作品として、本公演で11作・おでかけ公演で30作品ほどを製作。世界中のみんなとお友達になるアルファの夢を叶えるため、世界中に遊びに行きます。

長谷川唯 (公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会) 茶壺道中

埼玉県・狭山市

上演時間:約10分



作(脚本):岡崎征男 演出:長谷川唯
出演:長谷川唯 太田令(音響)
美術:佐川諒 音楽:和田光昭

上演作品紹介

江戸時代、宇治茶を徳川将軍に献上するために茶を詰めた壺を運ぶ行列、茶壺道中が行われていた。大名行列のように行列が通り過ぎるまで庶民は土下座を強いられ、横切ろうものなら手討ち(武士が無礼をはたらいた町人などを斬り殺す)にされてしまう——。わらべ歌「ずいずいずころばし」は茶壺道中についての唄と言われています。唄に沿って「絵と語り」で展開される絵話「茶壺道中」——時代の流れと共に技術が発達し、表現方法の幅も広がっている現代。現代的表現とは裏腹に紙芝居のような昔ながらのシンプルな表現の中で繰り広げられるお話にあなたは何を感じるだろうか。

劇団プロフィール

劇団すぎのこ(公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会)は1964年に生まれ、今年で創立57年目の人形劇団。子どもたちにナマの舞台を届けようと、北海道から沖縄まで(礼文島などの離島まで呼ばれればどこでも)全国の幼稚園・保育園を中心に巡回公演を行っている。個人としては、2015年2月にすぎのこへ入団。演技の仕事がしたいと探していた時にネットで見かけ、旅生活をしながら子どもたちを楽しませるすぎのこの活動に惹かれる。以降、すぎのこの人形劇俳優として活動している。

APINUN (山村佑理 × あづみびあの) 牛

東京都・世田谷区

上演時間:約25分



作・演出・美術・出演:山村佑理
音楽・助演出:あづみびあの

上演作品紹介

ジャグリングは物と体の関係性で紡ぐ踊り。無地の白い玉が、その配置や人の振る舞い次第で、無限の質感や役割を帯びます。ボールは私にとって体の一部のような存在であり、一生飼いなすことの叶わない絶対的他者でもあります。本創作では、牛と牛飼いの関係性を描く10枚の図で悟りに至る10の段階を表す「十牛図」を主題に、27つのボールと自身の体のコンポジションを振付。あづみびあのによる生演奏との毎秒の押し引きと共に移り行くランドスケープをお楽しみください。(山村佑理/文)

劇団プロフィール

「APINUN」=山村佑理とあづみびあのによるユニット。本創作をきっかけに結成。山村佑理=モノと共に踊るジャグラー・振付家。フランスのサーカス学校 Le LIDO卒。ながめくらしつ・BAZARの舞台作品に出演・一部振付に携わる他、様々なアーティストの共作・共演・WSを行う。あづみびあの=ピアニスト。KLAVIERAUM主催。くらやみびあの・物々交換コンサート・聞こえたと聞こえないの間の音楽探し・認知症の方と家族を繋ぐ記憶を巡るコンサート等実験的なライブ、WSを企画。

特定非営利活動法人 愛知人形劇センター

TEL 052-212-7229(平日10:00~18:00)
FAX 052-212-7309 mail@aichi-puppet.net
※お問い合わせは極力メールにてお願いいたします。

P新人賞特設ページ

http://aichi-puppet.net/p_newface/



これまでのP新人賞受賞団体

- P新人賞2011 PuppetTheaterゆめみトランク『やぎのおはなし』(愛知県)
- P新人賞2012 人形劇団ネンネムネムねむり鳥『幽霊(ネムリドリ・ゴースト・ストーリー)』(東京都)
- P新人賞2013 banko(バンコ)『さなぎのとき』(神奈川県)
- P新人賞2014 ベビー・ピー『山ぐるみ人形劇 桜の森の満開の下』(京都府)
- P新人賞2015 人形劇団望ノ社『DEBRIS』(栃木県)
- P新人賞2016 影の色彩ワンプロジェクト『夜叉が池』(愛知県)
- P新人賞2017 劇団オランダスタ『MANGAMAN』(愛知県)
- P新人賞2018 LimLim Puppets『空き地のおうち』(愛知県)
- P新人賞2019 横山てんこ(genre:Gray)『待つ』(東京都)
- P新人賞2020 劇団野らぼう『あの日から彼は私のことをしげると呼ぶようになった』(長野県)